

Company

成長したくなる
環境があるんです

「この会社で働いて良かった」と、
全員に思ってもらえる会社にしたい。

私が大手のITベンダーを退職して、会社を立ち上げた際、一つの目標を立てました。それは、この会社で働く全員が「働いてよかった」と思える会社にしよう、というものです。

誰もが働いて良かったと思える会社であるには、もちろん適切な売上や利益の確保が必要です。しかしそれと同じくらい、いえ、それ以上に、一人ひとりが成長できる仕組みづくりが重要だと思っています。

ではシステムエンジニアにおける成長はどういうことでしょう。知識や技術を身につけ、仕事を任される人材になるのは当たり前。私は、エンジニアの成長とは、まず「挨拶をする、約束を守る、報告・連絡・相談をする」という、社会人として当たり前のことが当たり前にできる人になることだと思います。そしてもう一つ、常に成長しようという「向上心」を持ち続ける人になること。

当社では、エンジニアの向上心を支援するために、外部セミナーの受講やeラーニングメニューの充実、社内の技術交流会、通信教育など、さまざまな制度を取り入れています。新人から管理職までのあらゆる階層で、その人が直面する、あるいは期待されるテーマに応じて、成長のステップを用意しています。今は、自分の頑張りが見える評価制度の確立と、社内のコミュニケーションがとりやすい環境の整備も進行中です。

AASTは、エンジニアとして成長したいと考える人にとって最高の舞台だと信じています。遠い将来、「この会社で働いて良かった」とあなたに言ってもらえることを願っています。

代表取締役 田中 博道



お金儲けの仕事はしない

いくら高額の案件でも、社員の成長につながらない案件や、社員に必要以上の負担を強い可能性が高いと判断した場合、社長自らの判断でその仕事をお断りすることもあります。なぜなら、AASTがめざしているのは一時的なお金儲けではなく、長い目で見て、働くみんなが幸せになり、IT技術で社会に貢献することだからです。

一緒に働いて良かったと
みんなに思ってもらえる
会社づくりのために

取引先は大手ベンダー

社長自身、大手ベンダーで様々な業界の人々と築いた信頼関係があるため、AASTでは今でも大手ベンダーやシステムインテグレーターとのお取引が続いている。よって、AASTで働くエンジニアは、あらゆる産業分野で、その最先端技術や最先端のシステムに携わることが可能です。

文系・理系ともに活躍できる

新人から管理職に至るまで、その人のスキルに応じて成長できる教育システムを整えているのがAAST。文系出身のエンジニアが数多く在籍し、あらゆる分野で活躍しているのはそういう仕組みがあるからです。また多彩なお客様とお取引をしているため、エンジニア一人ひとりの技術力に合わせて最適なテーマを用意できるのです。

企業も成長し続ける

AASTは設立からわずか10数年の企業。組織が完成しているわけではないため、今後、一人ひとりがさらに力を発揮できる企業になるべく、評価制度の見直しや、得意な領域では自社内開発を進めています。これからも、ともに働く仲間と一緒に成長していく会社を目指していきます。

一人前になれるかな？！

従業員はモチロン
家族満足度も高いんです！

START!

Profile

名前：三條 晃史
入社：2008年
所属：システム統括部／
システムリーダー

ありがた～い
サポート 3

AASTのチーム体制

チームリーダーがお客様との間を取り持ち、メンバーの技術に合わせて業務を割り振ります。新人社員には、入社2~3年目の先輩が教育係となり、プログラムのチェックからビジネスマナーまで助けてくれます。先輩に話しくてチーム内の悩みなどは営業担当者にこっそり相談しています。

取引担当者 チームリーダー サブリーダー
先輩社員 新入社員 先輩社員
教育サポート 総務社員
チームのフォロー 営業社員

Work Style

文系出身・未経験で入社！
サンジョーくんが一人前になるまで

コンピュータをいじるのは大好きだけど、プログラミングはど素人。そんな三條くんが、AASTでどのようにして「一人前」と呼ばれるまでに成長したのかを紹介！



※入社歴はインタビュー当時